



森永乳業

当社は、2018年を「ダイバーシティ元年」として、当社におけるダイバーシティ&インクルージョンの目的や優先施策を整理し、全社員に啓発する活動を行い、様々な施策を行ってまいりました。今後も、ダイバーシティ&インクルージョンを推進し、人権に配慮したダイバーシティ経営を実践してまいります。

人権方針

森永乳業グループでは、サステナブル（持続可能）な社会を実現するため、当社グループのサプライチェーン全体の人権を尊重することを宣言した人権方針を策定し、人権尊重の取り組みを推進しています。人権方針に基づき取り組む人権課題として、「性自認、性的指向」によるあらゆる差別およびハラスメントを排除する旨を記載しています。

この人権方針を全社員が尊重し、多様な社員に対して「人」として向き合える組織を目指してまいります。

働きやすい環境作り

- ・社内相談窓口の設置（性自認や性的指向に関する相談、性別を変えて働きたいという相談、カミングアウトに関する相談など）
- ・自認する性に基づく通称名の使用を承認
- ・就職時のエントリーシート「性別欄」に「その他」項目の追加、社内人財管理ツールの性別非公開設定

啓蒙活動

- ・LGBTQに関する学習会（全国事業所へオンライン発信）や、他食品企業と合同でLGBTQ講演会の開催
- ・LGBTQ人財を雇用する際のポイントや、カミングアウトされた際の対応などを定めた「LGBTQ人財の雇用に関するガイドライン」の策定・周知
- ・LGBTQやダイバーシティ理解促進のためのeラーニングプログラムについて、マネジメント職の受講必須化
- ・全グループ会社社員を対象にLGBTQ基礎知識のeラーニングを実施

PRIDE指標



LGBTQに関する企業の取り組みに対する評価指標「PRIDE指標」にて当社は4年連続で「ゴールド」を獲得しました。